

滋賀県高P連会報

Mother Lake

滋賀県公立高等学校PTA連合会

〒526-0033 滋賀県長浜市平方町270
滋賀県立長浜北高等学校内
TEL/FAX : 0749-53-0306 (事務局専用)
Eメール shiga-koup@river.ocn.ne.jp
ホームページ https://www.shiga-koup.jimusho.jp/



母なる湖・琵琶湖。
—あずかっているのは、滋賀県です。

背中を見せる



高P連 会長
鈴木 厚志
(長浜北高校・副会長)

平素は滋賀県公立高等学校PTA連合会の活動にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。各単位PTAにおかれましても、子どもたちの健やかな成長と教育環境の充実にご尽力いただいておりますこと重ねて御礼申し上げます。令和8年度会長を務めます鈴木厚志と申し上げます。何卒よろしくお願い申し上げます。

そうした課題に家庭だけで向き合うには限界があります。家庭、学校、地域、所管行政機関などが繋がりながら私たちの子どもたちを見守っていく、そうした動きがより一層必要と重要性を増していると感じます。私は、多くの人達と一緒に学び合い、情報共有し、共に成長し合う、そんな活動を続けていくことで、子どもたちを取り巻く課題を改善していけると信じています。私の長男がお世話になった当時の幼稚園の園長先生に教えていただきました。「大人の背中を見せることが一番の教育」と。あと数年で中等教育を終え、社会へ出ていく子どもたちに今できることは、活動している私たち大人の背中を子どもたちに見せることではないでしょうか。

PTA活動にも課題が多いのは承知しています。会員の入退会問題や入学者数の減少による会員数の減少、他にも各単位PTAが抱えておられる課題もあるでしょう。ですが、そうした課題もPTAの本質を変えない変化でもって改善していきましよう。滋賀県公立高等学校PTA連合会は皆さんと繋がりたいから活動していきたいと考えています。一緒に大人の背中を子どもたちに見せていきましよう。



滋賀県教育委員会
教育長
村井 泰彦

三方よしで創る「子どもを主語」にした滋賀の教育

滋賀県公立高等学校PTA連合会会員の皆様には、日頃より子どもたちの健やかな成長と教育活動の充実に多大なる御尽力をいただいておりますこと、心より感謝申し上げます。本県では現在、「未来を拓く心豊かでたくましい人づくり」を基本目標に掲げる滋賀の教育大綱のもと、子ども一人ひとりの幸せ、教育に携わる人々の幸せ、そしてみんなが幸せになる地域づくりの「三方よし」で幸せ育む滋賀の教育」の実現に向け取り組んでいるところです。計画の大きな柱の一つである「みんなで学びに関わる」においては、家庭、地域、学校、そして社会全体が生涯のあらゆる場面で学び、つながり合うことを目指しています。PTAの皆様は、教職員と共に教育を創造する「大切なパートナー」であり、保護者の皆様が当事者意識をもって学校運営に参画されることは、滋賀の教育をより豊かにする大きな力となると考えます。

施行から2年目を迎えた「滋賀県子ども基本条例」の基本理念には、「切れ目のない支援」や「信頼できる人や居場所を見つかること」が掲げられています。ここで大切にしたいのは、大人の目線で子どもを捉えるのではなく、これからの未来を担う子どもたちが何を考え、どうしたいのかという「子どもを主語」にした視点に立ち、学びを支える環境を整えることです。

PTAの皆様は、子どもたちにとつて最も身近な「信頼できる大人」の集まりではないかと考えます。保護者の皆様が互いに支え合う「親育ち」の場としてのPTA活動が、子どもたちの「安心の基地」となり、「子どもを主語」に共に社会のあり方を考えていくプラットフォームとなることを期待しております。

引き続き、「三方よし」の精神のもと、子ども、学校、そして地域社会の全てが幸せを実感できる滋賀の教育を、皆様と共に創り上げてまいりたいと存じます。

結びに、各校PTA、そして滋賀県公立高等学校PTA連合会のさらなる御発展と、会員の皆様の一層の御活躍を心より御祈念申し上げます。

令和7年度

P T A 功 勞 表 彰 受 賞 者 名

(敬称略)

高P連会長表彰状受賞者(30名)

伊香 米原 長浜農業 長浜北 河瀬 愛知 彦根工業 彦根翔西館 八日市南 八日市 八幡工業 甲西 信楽 水口東 水口 国際情報 栗東 守山 湖南農業 草津東 草津 東大津 瀬田工業 石山 大津商業 大津 堅田 安曇川

千安植中萩川桑小脇谷小川西中谷中竹林橋柏竹津谷川中谷佐中島小高
 田藤田川原口原西坂田嶋下堀井川中川治潤一ゆき至恵勝之岡岡真由美直薫三二美幸穂美子

壯勝吉英萩秀佐慎司大広英浩弘啓啓一ゆき至恵勝之岡岡真由美直薫三二美幸穂美子
 史誠彦彦樹純幸織介司記子二喜樹喜郎

教育長感謝状受賞者(13名)

虎姫 長浜北星 彦根東 能登川 日野 石部 玉川 甲南 守山北 瀨田工業(定時制) 石山 膳所 高島

堤北大野廣瀨川嶋あや子黒岩仙敷早貴行藤居足立安里炭谷南井渡会
 義圭文勤川嶋あや子黒岩仙敷早貴行藤居足立安里炭谷南井渡会
 定一彦勤川嶋あや子黒岩仙敷早貴行藤居足立安里炭谷南井渡会

令和7年度 高P連広報紙コンクールの選考結果

1. 入賞した広報紙

令和8年6月9日(火)開催の高P連第1回評議員会において表彰。



滋賀県立虎姫高等学校

[虎高PTA通信 No.157]

2. 近畿大会について

次の1紙は、近畿地区高P連広報紙コンクールにおいて会長賞を受賞し7月4日に開催される近畿地区高P連和歌山大会で表彰されます。

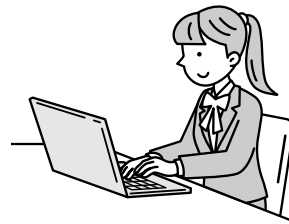
会長賞……滋賀県立虎姫高等学校

[虎高PTA通信 No.157]



滋賀県立大津高等学校

[大津高校PTA会報153号]



滋賀県立河瀬中学校・高等学校

[志成 Vol.119 秋号]

令和8年度 高P連役員等一覧

1 滋賀県高P連理事会役員			
会 長	湖北	長 浜 北	鈴木 厚 志
副 会 長 (3名)	湖 西	瀬 田 工 業	野 村 和 仁
	湖 東	愛 知	廣 瀬 正 治
	教 員	長 浜 北	大 森 文 子
理 事 (10名)	湖 北	伊 香	本 康 尊 之
	湖 東	彦 根 工 業	山 本 聡 枝
	中 央	八 幡 工 業	木 内 高 彦
		草 津	竹 内 有 香
	湖 南	守 山	松 井 み ち る
		水 口 東	谷 信 代
	湖 西	東 大 津	松 原 絵 美
		大 津 商 業	竹 内 ひとみ
	教 員	瀬 田 工 業	小 梶 和 久
	教 員	彦 根 翔 西 館	中 川 裕 子
監 査 委 員 (2名)	中 央	八 日 市 南	代 理 野 田 佳 子
	湖 南	甲 日 市 南	奥 田 康 之

2 地区別研修連絡協議会幹事		
湖 北	伊 吹	角 川 和 也
湖 東	愛 知	廣 瀬 正 治
中 央	八 幡	中 井 昇
湖 南	野 洲	小 森 由 宗
湖 西	膳 所	内 糸 大 樹

3 令和8年度滋賀県公立高等学校PTA会長									
湖 西	高 島	流 義 浩	中 央	八 幡	中 井 昇				
	安 曇 川	木 下 典 彦		八 幡 工 業	木 内 高 彦				
	堅 田	清 水 秀 紀		八 幡 商 業	野 々 村 直 幸				
	北 大 津	柳 田 昌 彦		八 日 市	田 淵 宏 治				
	大 津 商 業	竹 内 ひとみ		八 日 市 南	代 理 野 田 佳 子				
	大 津	吉 田 優 子		日 野	岸 正 樹				
	膳 所	内 糸 大 将 史		能 登 川	武 重 英 樹				
	石 山	炭 谷 和 仁		彦 根 東	木 村 泰 健				
	瀬 田 工 業	野 村 和 仁		彦 根 翔 西 館	橋 本 公 嗣				
	瀬 田 工 業(定)	大 原 ま ど か		彦 根 工 業	山 本 聡 枝				
湖 南	東 大 津	松 原 絵 美	愛 知	廣 瀬 正 治					
	草 津	竹 内 有 香	河 瀬	池 本 愛 智 美					
	草 津 東	上 垣 真 純	長 浜 北	川 瀬 智 久 之					
	守 山 北	酒 井 洋 輔	長 浜 農 業	三 輪 直 之 子					
	栗 東	青 木 賀 子	長 浜 北 星	藤 本 敦 子					
	国 際 情 報	川 立 恭 嗣	米 原	川 嶋 和 也					
	野 洲	小 森 由 宗	伊 吹	角 川 和 也					
	水 口 東	武 藤 修 儀	虎 姫	清 水 孝 弘					
	水 口 谷	信 代	伊 香	本 廉 尊 之					
	甲 南	奥 田 康 之							
信 楽	伊 知 地 捺 妃								
玉 川	伊 賀 範 臣								
甲 西	代 理 間 宮 龍 仁(教 頭)								
石 部	末 永 恵 美								

令和8年度 第1回高P連評議員会開催

令和8年6月9日(火)第1回高P連評議員会(総会)が、彦根勤労福祉会館で開催され、各単位PTAより会長と校長が出席されました。

開会行事に続き功労者表彰式が行われ、令和7年度のPTA会長13名に教育長表彰として野原 成彦 生涯学習課課長から感謝状と記念品が、30名に連合会長表彰として 炭谷 将史 連合会長から表彰状と記念品がそれぞれ贈呈されました。

また、広報紙コンタールの優秀校として、入賞校3校に、炭谷 将史 連合会長から表彰状と記念品がそれぞれ贈呈されました。

その後、議事に移り、令和8年度連合会長に 鈴木 厚志 学校PTA副会長が正式に承認され、すべての議案が原案どおり承認・可決されました。



《守破離》の心で繋ぐPTA



高P連 副会長
野村 和仁
(瀬田工業・会長)

滋賀県公立高等学校PTA連合会副会長を拝命いたしました瀬田工業高校の野村和仁です。

日頃より、本連合会の活動に温かいご理解とご協力を賜り心より御礼申し上げます。このたび就任にあたり、皆さまにご挨拶申し上げます。

近年、PTAを取り巻く環境は年々厳しさを増しています。保護者の働き方の多様化、地域コミュニティの変化、学校現場の負担増など、従来の形では対応しきれない課題が次々と生まれています。

PTA活動の担い手不足や活動の意義そのものが問われる場面も少なくありません。しかし、だからこそ今、私たちの役割がより重要になっていくと感じています。

そのうえで、私が活動の指針として大切にしている言葉が「守破離」です。

まず型を守り(守)、次に型を破り(破)、そして新たな型を生み出す(離)という、学びと成長の道筋を示す教えです。

先輩方が築いてこられた確かな基盤をしっかり守り、「守り」その上で、時代の変化や子どもたちの多様なニーズに応じて柔軟に「破り」、そして滋賀県らしい新たなPTAの姿を「離」として創り上げていく。

この姿勢こそが、厳しい環境の中でPTAが前に進むための鍵になると考えています。高P連を取り巻く環境もまた

複雑化しています。学習、進路、ICT、メンタルヘルスなど、多岐にわたる課題に対し、学校・家庭・地域が連携して支える体制がこれまで以上に求められています。PTAはその架け橋となる存在です。

保護者の声をつなぎ、学校現場を支え、子どもたちの未来を後押しする役割を担っています。副会長として、皆さまのご意見を大切にしながら、より良い活動の実現に向けて努めてまいります。

今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

見つめなおすこと



高P連 副会長
廣瀬 正治
(愛知・会長)

今年度、滋賀県高P連副会長を務めることになりました愛知高校の廣瀬です。平素よりPTA

これからのPTA活動



高P連 副会長
大森 文子
(長浜北・校長)

平素よりPTA活動にご理解とご支援を賜り、ありがとうございます。今年度より副会長を仰せつかりました長浜北高校の大森です。どうぞよろしくお願ひいたします。

現代はAIの進化に代表されるように変化のスピードは加速し、予測困難で不確実性の高い時代となっています。人々のライフスタイルや価値観も多様化

Aの活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今、社会はますます加速度を増して変化しています。国内外の情勢からは不穏な足音が聞こえてきますし、AIの進歩やSNS社会の広がりに対しても、自分の知らない世界がどんどん拡大していることを実感いたします。とくに、今の高校生たちは、直接的な対話よりもソーシャルな世界を重要視する傾向があり、目の前の子どもたちの本当の姿を捉えることが難しくなっているように感じます。

また、PTAの活動や存在に対しても、その意義が問われることもあります。確かに、私たちが過ごしてきた昭和や平成と同じ価値観で、従前と同じことをし続けることには無理が生じてきているのかもしれない。

しかし、社会が大きく変わっていく今だからこそ、足元の「家庭」そして「学校」や「PTA」の現状をしっかりと見つめなおすことが肝要だと考えます。つまり、日々の何気ない会話

するなかで、子どもたちやPTAを取り巻く環境も大きく変わり、県高P連においてはPTA活動の在り方についてのガイドラインの作成や会則の見直し等を進め、時代に合ったより良いPTA活動の創出に努めています。

PTAの果たす役割を考えた時、保護者の皆様と教員が子どもたちの健やかな成長のために協力しあい、教育環境を整えるということがあげられます。高

校生になると通学範囲が広くなり、また成長とともに親子の距離感も変化していくこともあって、小・中学校とはまた違った形でPTA活動が必要となっ

における子どもからの感謝の言葉、部活動で昨日できなかったことが今日できている子どもたちの姿、PTA活動のなかで生まれた親同士のささやかなつながり、子どもたちに対する先生方の熱心なかわり、これらに出会うことができる、「これまでの私たちの取り組みも間違っていない」と確信することができま

す。そして、それらの取り組みの目的は何かというと、ただただ子どもの成長のためにほかに代が変わっていかうとも、現在私たちが家庭や学校で子どものために行ってきていることをもって誇りに思っているのではないのでしょうか。

そのうえで、今後のPTAのあり方や学校へのかかわりを模索し続ける必要があると思えます。そのためにも県高P連の活動が重要であることはもちろんのことです。微力ではありますが、尽力させていただきますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

てきます。これからの時代は、どのような活動をどのように進めるのが良いのか、また持続可能な形はどのようなものなのか。課題は多いですが、県内それぞれの地域や各高校の実情に応じて無理なく最適な運営方法で活動していくことが、保護者の皆様のPTAへの満足度を高め、ひいては子どもたちの成長に還元できることになると考えています。県高P連が各高校をつなぎ、保護者様同士をつなぎ、ともに支え合い学び合える組織であり続けられるよう活動を進めてまいりますので、今後ともご協力を賜りますよう、お願ひ申し上げます。

お願ひ申し上げます。

令和8年度高P連事業の重点目標

- 1. 今後のPTAの在り方について情報交換し、その意義について学び、理解を深める。
2. PTA会員相互の親睦を深め、情報交換を図るとともに各種の研修に取り組み。
3. 関係機関との連携を図り、高校生の健全育成と自立性を育てることに努める。
4. 教育環境の整備を進め、高等学校教育の充実発展に寄与する。
5. 人権教育の充実を図るとともに、各種の大会に参加して発表する。
6. 高校生活の安全・安心を目的とし、各種補償制度等を充実する。
7. 令和11年度全国高等学校PTA連合会大会滋賀大会の開催に向け、準備を進める。

令和8年度高P連行事予定表

Table with columns: 年, 月, 日, 曜日, 内容. Contains a detailed schedule of events from August to September.

滋賀県高P連の現状

令和8年度... 県立高等学校44校が加盟

令和8年5月1日現在(各単位PTAからの報告による集計)

Table showing statistics for high school PTA unions: 高P連加盟校, 学校数, 在籍生徒数, PTA会員数, PTA会員数の内数 (教職員数, 保護者数).

①定時制高校... ②学 校 数... ③PTA会員数...

全国高P連の現状

全国50団体(47都道府県+1市)の高P連で組織

Table showing membership statistics for the national high school PTA union from 令和元年度 to 令和8年度.

令和8年度高P連大会日程

- (1) 第51回近畿(和歌山)大会
日程 令和8年7月4日(土)
会場 和歌山城ホール
(2) 第75回全国(大分)大会
日程 令和8年8月20日(木)
会場 別府国際コンベンションセンター他

編集後記

金銭的な報酬のない汗をたくさん流している人ほど、じつは、ものすごいパワー、人脈、「宇宙預金(徳を積む)」が貯まっています(小林正観)。それぞれPTAの役員を引き受けてくださっている皆さま、どんな利息を生むのか、とても楽しみです。

6月9日(火)、第1回評議員会において令和8年度の新しい理事役員が選任され、今年度の高P連がスタートしました。また、7月4日(土)には近畿大会和歌山大会が、8月20日(木)21日(金)には全国大会大分大会が開催されます。多くの会員の皆様のご参加を期待しております。今年度も当連合会へのご理解ご協力をお願い申し上げます。高P連事務局